



カバーのタイミング

2021.5.21

『絵札には絵札をカバーしなさい』古くから言われているディフェンス指針です。これは初級を卒業した人は誰でも知っていることですね。しかしかなりのベテランになっても、カバーするタイミングについては間違ってしまうことがあります。自分の右のダミーに J10x とあり、自分は Q9x と持っています。ダミーから J が出されました。カバーの必要性は自分に 9 がありますから明らかですが、今カバーするべきでしょうか？カバーしては

	♠ 1062	
	♥ AQ9	
	♦ A6532	
	♣ K8	
♠ KQJ93		♠ A74
♥ 2		♥ KJ10654
♦ K9		♦ 8
♣ A6542		♣ J103
	♠ 85	
	♥ 873	
	♦ QJ1074	
	♣ Q97	

いけません。J は流して、次に 10 が引かれた時にカバーするのです。あわててカバーしてしまうとどうということになるかというと、ディクレアラーは A で取り、ハンドから x を 10 が残っているダミーに向けて出します。パートナーは K を取る羽目になってしまい、10 を活かしてしまいます。ディクレアラーは A と 10 の 2 トリックを取れることとなります。一方最初にカバーしないと、パートナーは K で取り、10 の後ろに Q9 を持っているポジションになりますから、ディクレアラーは A しか取れない状況になります。実際

4つのハンドは左のようになっていました。

スペードを 3 つ取って、ダミーから CJ を引きました。ここで CQ をカバーしてしまうとダミーへの C10 が取れる様になりしかもエントリーが出来てしまいます。かぶらないと、そのまま N まで流れて N は CK で取り、またクラブをバックします。これは 103 の後ろに Q9 と持ちますから、CA にしか取らせませんね！ただし、ディフェンスも N がクラブ 2 枚しかありませんからすぐにクラブを取ることは出来ません。ハンドからハートを出すでしょうが、これは直ちに HA を上がり DA をキャッシュしてまたダイヤモンドを出します。DK を生かしはしましたが、クラブのルーザーは逃げてはいきません。1 ダウンです。ディクレアラーもトランプ狩りは 1 回だけにしておいて、ハンドからハートを出せばトランプでエントリーがまだ残っていますし、ダイヤモンドもダミーでラフ出来ますだからマーク出来たのですが、狩ってしまったのでダウンの道をまっしぐらということになってしまいました。